

コミュニケーション能力の向上を目指し、芝居の要素を取り入れた教育法「ドラマケーション」が注目を集めている。これまで中学校などで活用されてきたが、就職活動対策などにも用途が広がりがつつある。

「必ず誰かの体に触ってください。では、花を表現して。はい、ストップ」。大学生や教員など各地から集まった20～50代の28人が、集団の中で触れ合いを感じながら身体表現を行う「ワンタッチ・オブジェ」に取り組んでいた。

ドラマケーション普及センター(東京)が実施した、「ファシリテーター」と呼ばれる指導者を養成するための認定講座の一場面だ。

触れ合う教育法に注目

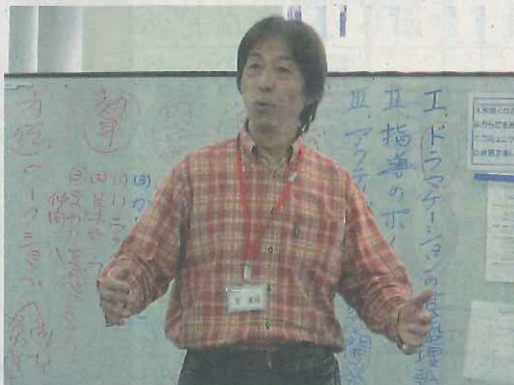
就活や企業研修にも活用

このほか、4人1組で腕を組んだまま行う鬼ごっこや、共通点を持つ仲間を探

すゲームなど、遊びの要素を盛り込んだ多彩なメニューに挑戦していた。

このほか、4人1組で腕を組んだまま行う鬼ごっこや、共通点を持つ仲間を探

すゲームなど、遊びの要素を盛り込んだ多彩なメニューに挑戦していた。



指導者養成講座で講義するドラマケーション普及センターの正嘉昭さん
—東京都新宿区



「ドラマケーション」の指導者養成講座で、身体表現に取り組む受講生ら—東京都新宿区

人間関係を育むことを目的とし、気軽に楽しくできるのが特徴だ。名称は、ドラマとコミュニケーションを組み合わせた造語。

これまでは、小中学生や高校生を対象に、集中力のアップなどを目的に実施されてきた。最近では、大学が就職活動に向けて、学生の自己アピール力向上のために導入したり、職場での良好な人間関係をつくるために企業が研修で活用したりしている。

同センターの講座は07年にスタート。現在約180人がファシリテーターに認定されている。

受講生で、富山県東部教育事務所勤める寺島紀子さん(46)は「ドラマケシ

ンで学んだことを生かして、生徒たちに友達の気持ちを受け止める力を植え付けたい」と期待を込める。

同センター講師の正嘉昭さんは、ドラマケーションの効果について「すべて遊びなので、リラックスでき、集中できる。自分に素直になっただけで表現力がアップする」と話す。

注意や余計なアドバイスはせず、本人の意思を尊重するといった。正さんは、指導するポイントについて「うまい、下手と評価せず、相手に認めること。認め合うことで、つたない表現の中にも面白さや楽しさをお互いに見つけることができるんです」と説明している。

潮風に吹かれて芸術を体感

市中津町)

園内をぐるりと一周するのも楽しいが、園の中心に配置された八景池を渡ると、違う景色が広がり面白い。水面に



の宴」

の
ジ

今年の夏は暑かったですね。10月が近づき、園内もやっと秋らしくなってきました。

ト「レインブツッ容子さんの歌声が松城に響きます。このほか、地

さて、普段見られない披

タリスト小倉博貴の夜の表情を紹介しよう。ターと故郷香川の

暮れ

くらし